

造山古墳

～吉備最大（全国4位）の前方後円墳～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス

資料番号

K30

初版：2025.11.10



1. おすすめポイント

★自由に歩き廻ることができる日本最大の古墳
(ライバルはほとんど“陵墓”で立ち入り不可)
なぜこんな巨大古墳が吉備にあるのか考えてみて

★まずはビジターセンターで予習をしてから！
2020年にできた施設です。是非ここで予備知識を

2. 説明



国指定史跡 造山古墳

当古墳は墳長約350メートル、後円部径約200メートル、高さ約24メートル、前方部幅約215メートルを測る前方後円墳で、岡山県下で第1位、全国でも第4位、自由に立ち入りできる古墳としては全国一の規模を誇ります。大正10年(1921)、周辺の中小古墳(第一～六古墳)とともに国指定史跡となりました。

古墳は、低い丘陵を切斷し土盛りや削平などを施して形を整えています。墳丘は三段築成で、くびれ部両側に台形の造り出しを設けています。また、墳丘表面には葺石がふかれ、各段には円筒埴輪がめぐらされていました。このほか、盾・勒・蓋・家などの形象埴輪も見つかっています。

埋葬施設などの詳細は未調査のため不明ですが、墳丘規模・外表施設等の有り様からみて、被葬者は当地域の首長であったと同時に、吉備全域をも統轄していた大首長の地位にあったと考えられます。また、造山古墳に次ぐ作山古墳(総社市)、両宮山古墳(山陽町)などの巨大古墳の存在は、吉備が畿内の勢力と肩を並べるほどに強大であったことをうかがわせます。

なお前方部に置かれている割りぬき式の舟形石棺は阿蘇溶結凝灰岩製で蓋には直弧紋が刻まれているなど九州地域の石棺の特徴を持っています。近くの新庄車塚古墳から運ばれたものとも、当古墳の前方部から出土したとも伝えられています。

平成15年3月31日

岡山市教育委員会

2-1 ビジターセンターにある説明板

2020.11.18

左下図2-3のように標高図で見ると説明板のとおり“丘尾を切断”したうえで成形、築造されたことが解ります。

切断の跡は明瞭に残っていて「地獄田」(右写真)と呼ばれています(写真4-1も参照ください)。



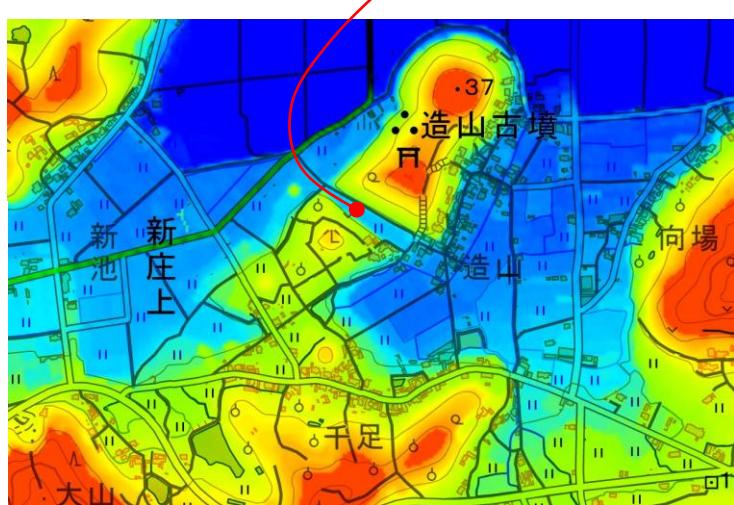
2-2

前方部頂から南南西を望む



5m ~	7m以下
7m ~	9m以下
9m ~	11m以下
11m ~	15m以下
15m ~	20m以下
20m ~	25m以下
25m ~	30m以下
30m ~	

2-3



地理院地図（自分で作る色別標高図表示）に赤で追記

3. 現地写真

2021.2.6



3-1

新庄上の道路脇から見ると全形がよくわかります（図5-2参照）



3-2

2020.11.18

前方部の上には神社があり、
その前に阿蘇溶結凝灰岩で
できた石棺が置かれています
“九州”との繋がりを示唆

古墳中央から前方部を見る



神社の基壇

参考文献 1 によると、前方部に壇をもつ
巨大古墳は西殿塚古墳、石津ヶ丘古墳
(履中陵)、誉田御廟山古墳(応神陵)
と少なく、格の高い一部の古墳に限られ
るのだそうです。
そんな格の高い古墳が吉備に・・・

「方形壇」の痕跡の可能性がある高まり

4. 「鳥の目」で

2020.8.31



4-1

2021.2.6



4-2

5. アクセス



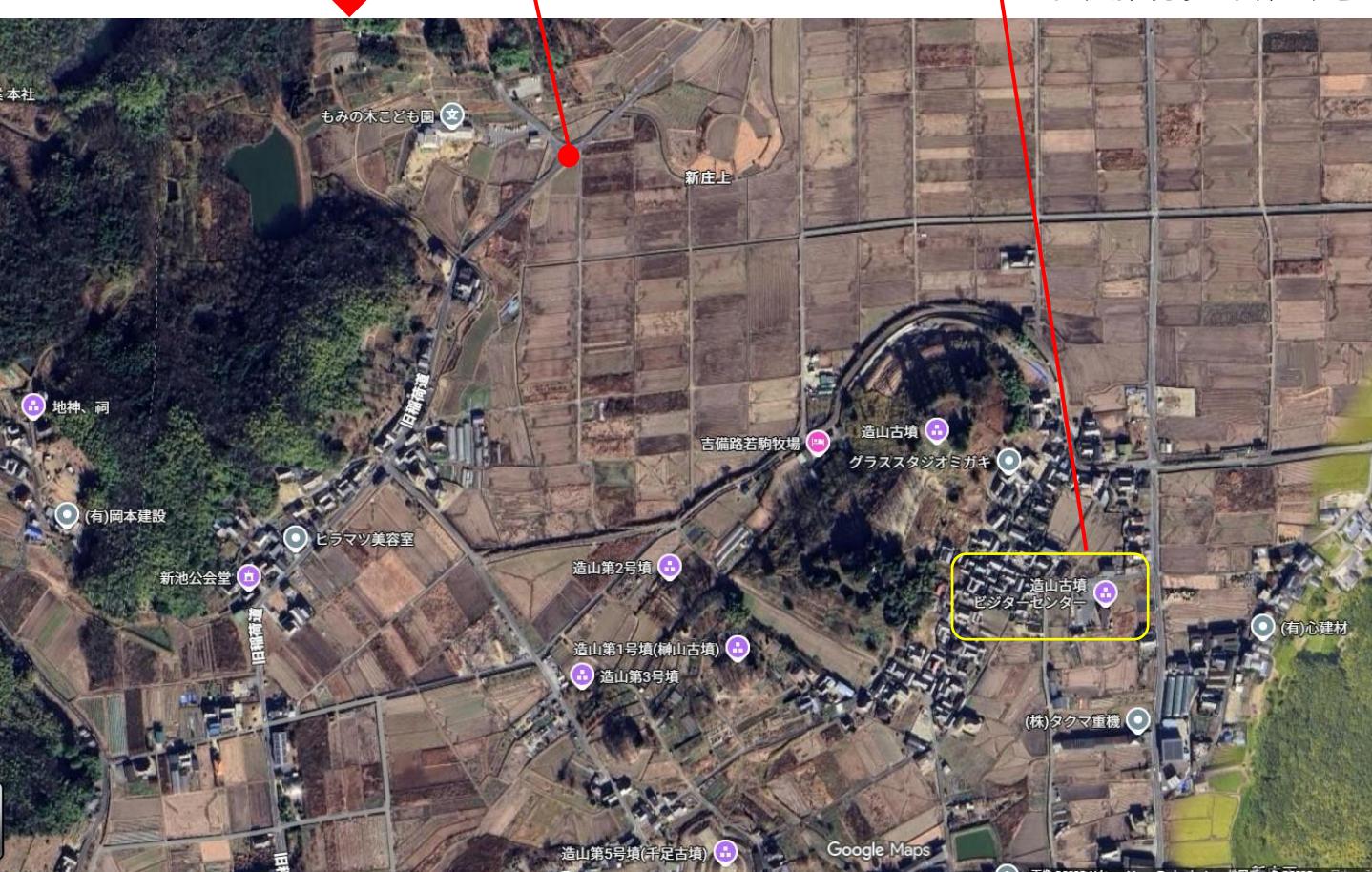
Google Mapに赤、黄で追記



5-1

ビューポイント（写真 3 - 1 参照）

駐車場、見学の予習に最適



5-2

参考文献

- 1) 西田和浩. 吉備の超巨大古墳 造山古墳群（シリーズ「遺跡を学ぶ」148）. 新泉社, 2020, 93p.